

むろらん 市議会だより

発行／室蘭市議会
編集／広報特別委員会

新たな時代への
まちづくり



平成23年度の完成を目指す
「Mランド計画」



平成18年4月に開設された
北海道立栽培水産試験場



たくさんの市民でにぎわった
「さかなの港町同窓会」

海を生かしたまちづくり

私たちが住む室蘭市は、三方を海に囲まれた町です。本市では、昨年開設した道立栽培水産試験場や、現在建設中の人工島等を活用し、10年先の水産業を核とした地域振興ビジョンである「室蘭直地域マリンビジョン計画～都会の漁港直～」を策定しています。この海を生かした観光や産業のまちづくりも、これから大変重要になってくるものと思われま

平成19年第3回室蘭市議会定例会

- 9月 10日 本会議 (開会、議案説明ほか)
- 9月 13、14日 同上 (質疑・一般質問)
- 9月 18日 委員会 (議会運営)
- 9月 18日 本会議 (質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか)
- 9月 19日 特別委員会 (企業会計決算審査・書類審査)
- 9月 20日 常任委員会 (総務、経済建設)
- 9月 21日 同上 (民生)
- 9月 25日 特別委員会 (予算審査)
- 9月 26、27日 同上 (企業会計決算審査)
- 9月 28日 委員会 (議会運営)
- 10月 1日 本会議 (各種議案の議決ほか、閉会)

第3回定例会開催

平成19年第3回室蘭市議会定例会が、9月10日から10月1日まで、22日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として補正予算2件、条例改正等を含む議案8件、人事案件5件、その他2件及び平成18年度の水道事業決算外6企業会計決算の認定案、議員提出議案として意見書案3件について、審議・議決しました。

また、平成18年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定案を閉会中継続審査とし、閉会しました。

質疑・一般質問

議員8人の質疑・一般質問
及び答弁から15項目を取り
上げ、要旨を紹介いたします。

新 政 会 徳中 嗣史
とくなが つぐし

大型商業施設について

【問】市内の商業売り場面積は飽和状態である。道はガイドラインでコンパクトなまちづくりを目指し、大型商業施設の郊外への立地を抑制している。商店街以外への商業施設立地に対する市の考えは。

【答】本市特有の地形が形成され、生活の利便性確保も重要な判断基準であり、他市事例の検証とともに、商業的見



商店街以外への商業施設立地には慎重な検討が必要

地や市民認識を考慮し、あらゆる角度から慎重に検討する。

職員の昼休み延長について

【問】市職員の昼休みが15分短縮されたため、地域の飲食店に多大な影響が出ている。飲食店組合から時間延長の要望もあり、早急に見直すべきでは。

【答】今後とも年内の早期実施を目指し、職員団体等との協議を進めていく。

民主・市民クラブ 花釜 康之
はながま やすゆき

放課後児童対策について

【問】役割の異なるスクール児童館と児童クラブについて、施設の現状をどう見ているか。

【答】スクール児童館は余裕教室3室を活用し、児童館と同程度の面積の中で展開している。児童クラブも同じく、余裕教室を使い、学校との調整により、音楽室や体育館な

ども活用している。今後とも学校との話し合いなどによりスペースの拡大に努める。

潮見公園の新たな

環境整備について

【問】自然が生きた、生かされた公園としての潮見公園は、ごみのポイ捨てなどもあり、マナーも不十分である。新たな環境整備の取り組みは。

【答】室蘭を緑いっばいにする会等の市民活動団体とも連携する中で、環境整備の一環として植樹を実施していく。



豊かな自然景観を生かした環境整備が進められる潮見公園

市政・創造21 沼田 俊治
ぬまた としはる

洞爺湖サミットについて

【問】サミットの機会を生か

し、産業面に限らず環境をテーマに全市民的な取り組みを行い、環境自治体としてアピールすべきと考えるが、見解は。

【答】今回のサミットは、地球温暖化が主要テーマとされており、環境に対する意識向上のため、環境にやさしい生活を実施するエコライフなど、地球温暖化防止に寄与する取り組みを進めていきたい。

周産期医療の変化について

【問】医師引き揚げなどによる西胆振圏域内の周産期医療体制の変化について伺う。

【答】平成17年3月における産科医師数は133名、出生数は17、18年とも約1千600件、また、平成19年4月では医師数が8.5名と減少。周産期医療体制の再建と圏域内の分娩を地域内で担える体制確保が必要。

新 政 会 桜場 政美
さくらば まさみ

文化女子大学室蘭短期大学と附属幼稚園について

【問】嘆願書提出等、多くの市民の力で存続要請を行った結果、短大存続は厳しいが、附属幼稚園存続については前

向きであるが行政の対応は。

【答】文化学園から短大存続は難しいが、附属幼稚園存続を検討するとの報告を受けた。



市民の力で存続が決定した文化女子大学室蘭短期大学附属幼稚園

体育館の移転及び

新築計画の策定は

【問】老朽化した市体育館の新築には約50億円を要するが、建てかえ期を迎える登別市体育館と同時に財政面も含め、広域的に計画策定を進めては。

【答】スポーツ施設利用者、指導者、関係団体間では、相互に連携し活動している。本年度から広域的スポーツ振興を図るため立ち上げた3市のスポーツ施設担当者会議において財政面を含め検討していく。

日本共産党 田村 農夫成
たむら のぶなり

米空母の室蘭入港について

【問】入港を認めると原子力空母の入港につながり、市民の安全を守る保障はない。入港はぎつぱり断るべきであり、非核平和都市条例をもつ苫小牧や非核神戸方式を採用する神戸には米艦が入港しないという事実を参考に、本市も非核都市宣言などを検討しては。

【答】本市の平和都市宣言には、非核三原則が盛り込まれており、入港は荷役等への支障、施設の安全性、核搭載の有無及び市民の声を参考に総合的に判断したい。



昨年2月に室蘭港に入港した米海軍第7艦隊旗艦「ブルーリッジ」

高齢者の医療制度について

【問】来年4月から始まる年金からの保険料の徴収を知らない市民が多い。対象者数と保険料、制度周知の徹底策は。

【答】約1万3千人が対象、保険料は平均8万5千円の見込み。報道等で周知を図る。

民主市民クラブ 水江 一弘
みづえ かずひろ

地域のお産を守る体制は

【問】西胆振で産婦人科医が減っている。また、ハイリスク分娩の増加もあり、西胆振で最も多い産婦人科医を抱える市立病院の役割は重大だが、地域のお産を守るのか。

【答】西胆振における年間分娩数は約1千600件だが、医師等の数は不十分と認識している。また、ハイリスク分娩も含めて市立病院での分娩数が急激に増加しており、医師や助産師、看護師の疲弊もあるが、当面は最大限の努力をしていきたい。

救急車の利用実態について

【問】救急車をタクシーがわりに利用している実態があり、

救急業務に支障を来している。マナー違反者への対応策は。

【答】昨年は全体の44%が軽症者。他地域での対応策の検討も含め、市民啓発に努める。

公明党室蘭市議会 砂田 尚子
すなだ なおこ

協働のまちづくりについて

【問】さらなるまちづくりを進める観点から、市長みずから企業等に出向き、昼食をとるなど、タウンミーティングのようなものを実施すべきと考えるが、見解を問う。

【答】市から団体等に声をかけ、市民の意思がまちづくりに反映されるよう、積極的に参加していきたい。



市民団体のほか、地域での活用が期待される市民活動センター

【問】母恋、中島、本輪西、白鳥台の市会館は、現在、管

理、運営のあり方を検討しているが、市民活動センターのよつな機能を持たせるなどの対応を図る考えは。

【答】現在、施設の目的、老朽化対策、管理運営形態など検討を行っており、地域での自主管理が可能となれば、将来目指している地域内分権のモデルケースともなることから、地域の声も聞きながら有効活用について検討する。

市政・創造21 山川 明
やまかわ あきら

今後の財政運営について

【問】20年度の予算策定をしていく中で、市長のマニフェスト実現に向けての考え方は。

【答】まずは不良債務の解消が急務。ほかに旧朝陽小学校を活用した通園施設整備、中島・日新小学校統合校建設、東・鶴ヶ崎中学校統合着手、さらには、医師、看護師の確保対策に予算化を図っていく予定。

室蘭市における

文化遺産の保存について

【問】本市には埋蔵文化財のほか、古文書や絵画、自然景観等多くの遺産があるが、こ

これらの保存や整理を含めた具体的な活用についての考えは。

【答】広く保護、活用しつつ、後世に残す責務がある。また、郷土学習や企画展示を通じての価値の再提示や周知を行い、文化財に対する市民の認識を高めていく。



市内唯一の国指定史跡である東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡

おわびと訂正

第54号(8/1)の代表質問の中で、質問者氏名に誤字がありました。おわびして訂正します。

正 我妻 静夫
わがつま しずお

誤 我妻 静男
わがつま しずお



らいとあっぷ

道州制とは

小泉政権以降、道州制という言葉がマスコミでもたびたび取り上げられるようになり、高橋はるみ北海道知事もこの制度の導入に賛成を表明していますが、そもそも道州制とはどんなものなのかをわかりやすく探ってみましょう。

Q. 道州制とは何のことですか？

A. 現在の都道府県をなくし、日本をいくつかの「道」と「州」に再編成することをいいます。

Q. なぜ道州制が必要なのですか？

A. 小泉首相が構造改革という言葉をよく使っていましたが、国の果たすべき役割を財政や司法、外交、防衛などに絞った小さな政府をつくり、教育や福祉は地方に任せるために、その受け皿として「道州」が必要とされています。

Q. 地方には福祉や教育などの十分な財源があるのですか？

A. 地方分権改革として財源も地方へ移譲することとなっています。ところが、地方交付税は削減され続けており、全国知事会、市長会、議長会などは、地方交付税をきちんと確保するよう求めています。

Q. 北海道はすでに「道」と呼ばれていますが、何か変わるのでしょうか？

A. 高橋はるみ北海道知事は一昨年、小泉首相に道州制特区の認定を希望し、昨年その推進法がつけられました。

Q. すると、もう道州制が始まるのでしょうか？ また、どんな影響がありますか？

A. まだテストの段階の、それもほんの入口ですが、市町村合併論議などにも一段と拍車がかかることが予想されます。

Q. 室蘭市にも影響はありますか？

A. もちろん無関係ではありませんので、大いに関心を持ち、論議することが大切です。

市議会中継と議会会議録が市議会ホームページに！
室蘭市役所ホームページ（総合案内）⇒ 議会中継
※市議会中継は議会開会中のみ生中継、その他は録画放送。

平成19年第4回市議会定例会 会期(予定)

12月3日(月)～12月17日(月)

※会期の決定及び詳細な日程につきましては、11月29日(木)開催予定の議会運営委員会終了後、議会ホームページ（議会日程）に掲載いたします。

議決結果

平成19年第3回臨時会議決結果 会期:平成19年7月20日(金)(1日)

| 番号 | 件名 | 議決結果 |
|-------|------------------------|------|
| 議案第1号 | 平成19年度室蘭市一般会計補正予算(第2号) | 原案可決 |

平成19年第3回定例会議決結果 会期:平成19年9月10日(月)～10月1日(月)(22日間)

| 番号 | 件名 | 議決結果 |
|---------|---|------|
| 議案第1号 | 平成19年度室蘭市一般会計補正予算(第3号) | 原案可決 |
| 議案第2号 | 平成19年度室蘭市介護保険特別会計補正予算(第1号) | 〃 |
| 議案第3号 | 政治倫理の確立のための室蘭市長の資産等の公開に関する条例等の一部改正の件 | 〃 |
| 議案第4号 | 室蘭市職員の退職手当に関する条例中一部改正の件 | 〃 |
| 議案第5号 | 室蘭市職員の育児休業等に関する条例及び室蘭市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例中一部改正の件 | 〃 |
| 議案第6号 | 室蘭市役所支所設置条例中一部改正の件 | 〃 |
| 議案第7号 | 室蘭市会館条例中一部改正の件 | 〃 |
| 議案第8号 | 室蘭市建築基準法施行条例中一部改正の件 | 〃 |
| 議案第9号 | 室蘭市土地開発公社定款中一部変更の件 | 〃 |
| 議案第10号 | 安全安心都市宣言に関する件 | 〃 |
| 議案第11号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件 | 同意 |
| 議案第12号 | 功労者表彰の件 | 〃 |
| 議案第13号 | 教育委員会委員の任命について同意を求める件 | 〃 |
| 議案第14号 | 公平委員会委員の選任について同意を求める件 | 〃 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者推薦の件 | 承認 |
| | 室蘭市選挙管理委員並びに同補充員の選挙 | 当選 |
| 認定第1号 | 平成18年度室蘭市水道事業決算 | 認定 |
| 認定第2号 | 平成18年度室蘭市工業用水道事業決算 | 〃 |
| 認定第3号 | 平成18年度室蘭市病院事業決算 | 〃 |
| 認定第4号 | 平成18年度室蘭市中央卸売市場事業決算 | 〃 |
| 認定第5号 | 平成18年度室蘭市白鳥台開発事業決算 | 〃 |
| 認定第6号 | 平成18年度室蘭市港湾整備事業決算 | 〃 |
| 認定第7号 | 平成18年度室蘭市下水道事業決算 | 〃 |
| 報告第1号 | 出資法人等の経営状況について | 報告了 |
| 意見書案第1号 | 北海道室蘭工業高等学校全日制課程6学科の存続を求める意見書 | 原案可決 |
| 意見書案第2号 | 2008年度政府予算編成における義務教育費国庫負担制度の堅持等教育予算の拡充を求める意見書 | 〃 |
| 意見書案第3号 | いじめ、不登校対策のための施策を求める意見書 | 〃 |
| 請願第1号 | 国民健康保険料の引き下げに関する件 | 不採択 |

編集後記

6月に続き、9月の第3回定例会も8名の議員による一般質問ということになりましたが、これはみずからの議会改革の結果とはいえ、少々寂しい気もします。ベテラン議員の中には、昔は夜中まで論議したこともあったと懐かしむ声もあるようですが、改革の成果が問われるのは、議会のチェック機能が強まり、論議が活発化し、市民にもわかりやすい議会活動が実感していただけるかどうかにかかっていると思います。さらに、200億円もの不良債務を抱えている本市を、いかに市民負担を抑えながら夕張化させないように頑張れるかも問われます。例年になく暑かった9月議会。ノーネクタイ姿(クールビズ)で頑張った議員の熱い気持ちが伝われば幸いです。(田村)